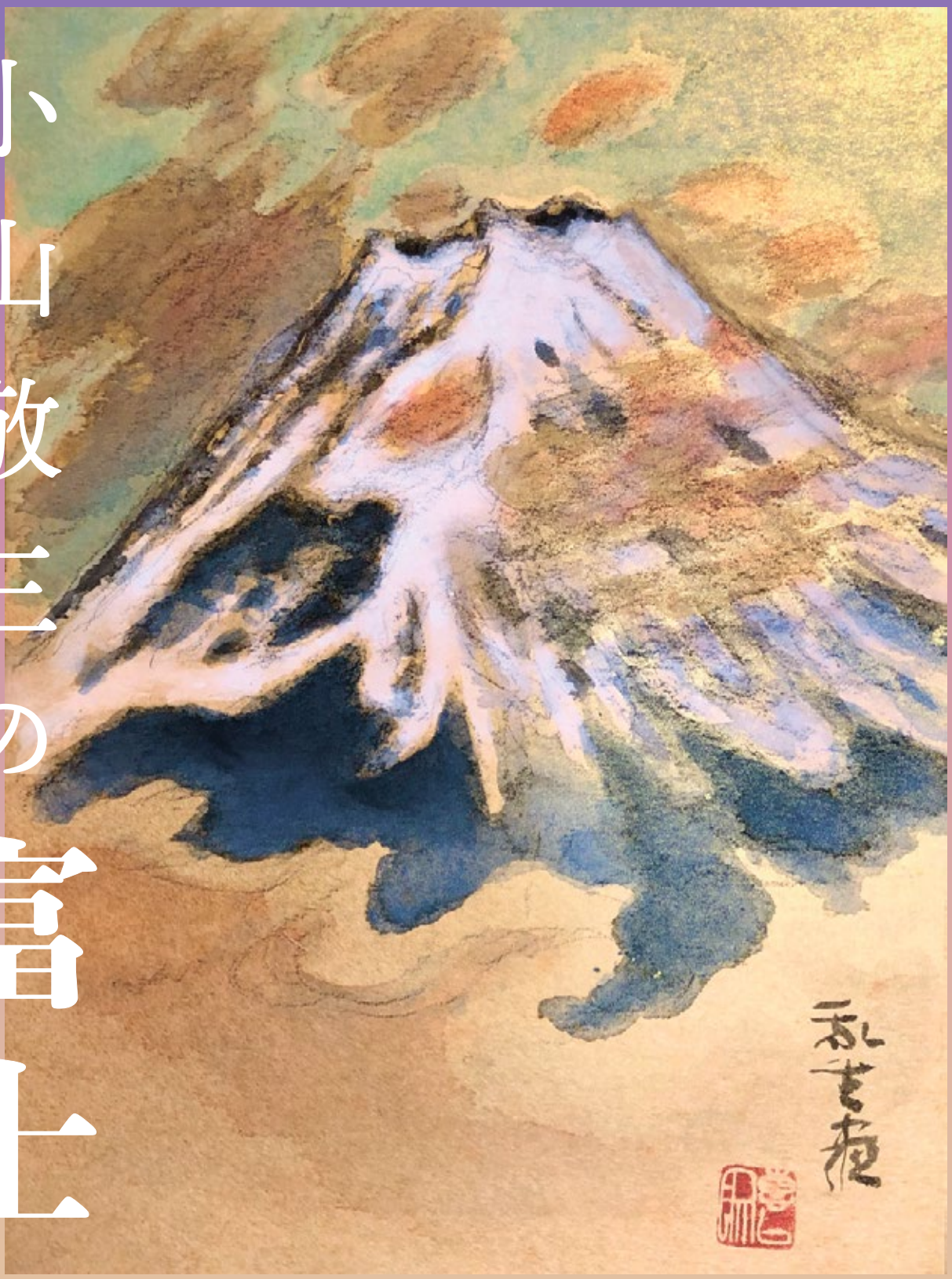
【富士】日本画・色紙

小山敬三の富士

Mt. Fuji Koyama Keizo

代表作も常設展示中



浅間の画家、富士を描く。

2026.10.17 [土] ▶ 2027.4.4 [日]

【開館時間】4月-11月　9時-17時
12月-3月　9時-16時

【休館日】12月1日-3月11日毎週水曜
年末年始（12/29-1/3）

【入館料】一　般　：200円
小中学生：100円

【主催】小諸市教育委員会　小諸市立小山敬三美術館
【後援】信濃毎日新聞社　小諸新聞社　東信ジャーナル社
コミュニティテレビこもろ　（公財）八十二文化財団　小山敬三美術館友の会

小諸市立小山敬三美術館
長野県小諸市丁221-3（懐古園内）
TEL / FAX　0267-22-3428

小諸市HP

Mt. Fuji Koyama Keizo

小山敬三の富士



【富士Ⅱ】　水彩・スケッチ



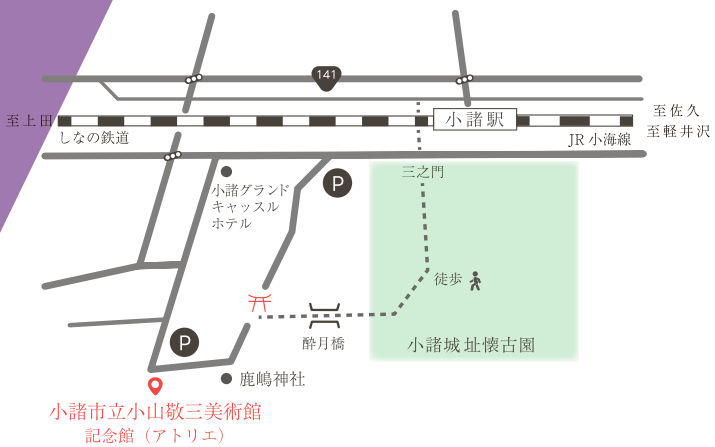
【雲中富嶽】　リトグラフ



【富士Ⅰ】　水彩・スケッチ

小山敬三の代名詞とも言える「浅間」シリーズ。
長年にわたり、季節や時間とともに移り変わる浅間山と対峙し、刻々と表情を変える大自然の姿をキャンバスに写し取ってきた画伯の目は、晩年、日本の象徴である「富士」へと向けられました。
今回の展示では当館初展示となる富士山の日本画、水彩画、スケッチに加え、昭和56年の日展出品作『雲中富嶽』のリトグラフも公開いたします。
今回展示する作品の多くが、芦ノ湖や箱根のホテルから仰ぎ見た富士を題材にしながらも、単なる外観の描写にはとどまらず、大自然の空気を感じることのできるダイナミックな「雲の動き」の表現を追求した姿勢を感じることができます。
また描く対象が浅間から変わっても、その真摯な制作姿勢は変わりません。
洋画で培われた力強い骨格をもつ構図の中に、水墨画に見られる躍動的な曲線が融合し、それはまさに、画伯の長年の探求が結実した「小山芸術」の到達点といえます。
迫力と生命力に満ちた、当館ならではの「富士」の世界を、ぜひこの機会にご堪能ください。

交通のご案内



車

上信越自動車道
小諸インターから10分

電車

しなの鉄道またはJR小海線
小諸駅下車徒歩15分

日程

2026.10.17 |土|
▶ 2027.4.4 |日|

【開館時間】

4月-11月　9時-17時
12月-3月　9時-16時

【休館日】

12月1日-3月11日毎週水曜
年末年始（12/29-1/3）

展示に関するお問い合わせ

小諸市立小山敬三美術館
Koyama Keizo Museum of Art
長野県小諸市丁221−3（懐古園内）　TEL 0267-22-3428

小諸市HP